



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

96.4.15 No. 4377

東京からJR総連4名の配転弾劾!

危機に立つJR総連の送り込みのための弾劾!

JR当局は、四月一日付けで、東京から四名の運転士を千葉支社へ配転した。

具体的内容は、
中野電車区2名↓習志野運輸区
中原電車区1名↓京葉運輸区
品川運輸区1名↓同

であり、いずれもJR総連所属の運転士である。

千葉支社は、この配転について、「千葉から東京地域本社管内に通っている社員から千葉に帰りたいと要望がずっとあった。これからも随時、千葉へと配転する予定である。配転は、運輸関係だけではなく、営業関係も配転している。今回は、千葉から見て、東京駅以遠の社員について転勤をもらった。」と述べている。

しかし、この配転は、誰がどう見ても危機に立つJR総連の組織固めと言わざるを得ない。

今日、国労の二〇二億円和解問題から、グリーンユニオンの結成、さらには春闘最中の三月二〇日の旧鉄労系、社員労系本部役員統制処分など揺れに揺れているJR総連-JR東労組革マルは今や組織固めに必死となっている。

もともと、千葉の運転職場はわれわれ動労千葉が主流派であ

り、JR総連革マルは、未だ少数派である。そこで国鉄時代も含めて、JR総連革マル分子を送り込んできているが、運転職場を固めることには全く成功していない。

強制配転者や運転士有資格者を原職復帰、登用せよ!

今回の四名の配転についても、船橋や都賀などから通勤している者や、JR総連役員経験者を送り込んできたのである。

JR当局は、八九年以降強制配転した組合員を未だ運転士として原職復帰せよに在る。また分割・民営化以前より、運転士の資格を持っている動労千葉・国労の組合員について運転士に登用せよに在る。

JRは不当労働行為を直ちに中止せよ!

動労千葉組合員の運転士不登用問題については、九七年六月

一日付けで千葉地労委において「運転士に登用せよ」との命令が発せられている。第三者機関も含め、JR当局-JR総連が結託した不当な人事が「不当労働行為である」と認定されているのである。

JR当局は、直ちに不当労働行為を中止し、動労千葉組合員を希望通り運転士に復帰・登用せよ!不当労働行為根絶に向け、全力で闘うぞ!

四月一日、一三時から、千葉市民会館において、「動労総連第一〇回定期中央委員会」が開催され、JR総連の崩壊が始まった今日、今こそ「全ての動力車職場は、動労総連合へ」を合言葉に、全力で闘いぬく方針が確認された。

委員会は、国分副委員長(水戸)の司会で始まり、議長に山口委員(千葉)を選出した後、水野委員長から「国鉄分割・民営化一〇年を迎え、一〇年目の総括評価」が、住専問題とは比較にならない社会問題として迫っている。動労総連合も結成から一〇年目に入り、この一〇年の闘いを正しく総括するとともに、新たな労働運動の潮流との結合を実現しよう」とあいさつが行なわれた。

つきに、布施書記長から昨年一二月の第一〇回定期大会以降の総括と当面する取り組みが提起され、質疑応答に入った。

質疑では、沖縄現地闘争の報告(千葉)、仕業別実態調査は大きな力になる(千葉)、ローカル線の要員切捨て、無人駅などで、事故の対応もできない状

(((動労総連合第10回定期中央委員会開催)))



況(千葉)、四ヶ月で一七〇日の休勤があり、ある運転士は一日で一日の休みとなり、運転保安上問題がある。また、管理者の質が落ち、見習いも指導できない危機的状況だ(水戸)、ワンマン運行で運転士が精算するため、時間がかかり踏切が開かなくなった(高崎)、乗車駅証明書発行機の故障で乗客とのトラブルが多発している(西日本)、水郡線で無遮断事故が発生したが、他の線区でも発生が予想されておりバックアップシステムでの要求が必要(水戸)など、職場での取り組みや問題点を中心に活発な討論が行なわれた。

最後に、解雇撤回・清算事業団闘争を起点に労働強化を粉砕し、闘う労働運動の新たな潮流の結集へ向けて全力で決起する委員会宣言を採択し、平岡副委員長(西日本)の閉会あいさつに続き、水野委員長の団結ガンバロー三唱で、第一〇回定期中央委員会は成功裡に閉会した。

新たな10万人合理化粉碎! 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!